

ともに生きる豊かな地域社会をめざして

～第19回東通村社会福祉大会・第28回東通村老人クラブ唄と踊りの集い～

10月26日（水）、村体育館を会場に、第19回東通村社会福祉大会・第28回東通村老人クラブ唄と踊りの集いが開催されました。

本大会は「ともに生きる豊かな地域社会をめざして」をスローガンに、東通村老人クラブ連合会など関係機関から約200名が参加して行われました。

第1部の社会福祉大会では、多年にわたり地域福祉活動に尽力された功績をたたえ、相内亀氏（小田野沢）、青木ナオ氏（入口）、畑中恵子氏（入口）、の3名に表彰状が贈られました。また、多年にわたり民生委員児童委員を務められた功績をたたえ、津花八千代氏（古野牛川）、南川千恵美氏（老部）、中野渡照子氏（老部）、東田法子氏（白糖）の4名に表彰状が贈られました。その後、社会福祉協議会 澤田敬吉理事より「福祉関係者並びに福祉の担い手が、地域社会に貢献し、助け合いの心を持ち、地域福祉の輪の構築に積極的に取り組んでいくことを決意します」と大会宣言がなされました。

また、式典後には、むつ警察署交通課 佐藤克彦課長による「安全で安心な暮らしのために」がテーマの講演では、近年多発している詐欺事件の紹介と注意の呼びかけが行われました。

第2部の老人クラブ唄と踊りの集いでは、各地区老人クラブから熟練した手さばきと元気な唄と踊りが披露され、会場からたくさんの歓声やお花があがっていました。



澤田理事による大会宣言



多数の方に参加いただきました



会場を盛り上げた歌と踊り

老部出身の民謡歌手 相内誠吾さん

東日本大震災による県内被災者支援にと義援金を贈る

去る8月16日、老部地区基幹集落センターにおいて、老部出身で千葉県を拠点に民謡歌手（ティチレコード）として活躍している『相内誠吾さん』の主催による、チャリティー発表会『奥南部・民謡の旅』が行われました。

チャリティー発表会では、多くの来場者があり、その入場料収益73,275円を、この度の東日本大震災で被災された県内被災者の生活支援にと、青森県を通じ被災者へ義援金を贈りました。また、今回のイベント開催に際し、協賛として老部敬神会・老部婦人会・第16分団の皆様にも御協力を頂きました。

皆様の心温まるご支援に感謝いたします。本当に有り難うございました。

『相内誠吾』奥南部民謡の旅♪チャリティー発表会



義援金目録を贈呈する相内誠吾さん（右）